参考資料

「チャレンジ省資源宣言」プレゼントキャンペーンについて

「チャレンジ省資源宣言」プレゼントキャンペーンは、過度な資源利用の抑制・廃棄物の削減をするため、事業者の「チャレンジ省資源」の取組とその製品を紹介し、域内住民の意識向上を図るキャンペーンです。

1　「チャレンジ省資源宣言」プレゼントキャンペーン

（1）概要

店頭で配布されるリーフレットに添付された専用はがき、またはウェブサイトからアンケートにお答えの上、ご応募された方の中から、抽選で合計 120 名に賞品をプレゼントします。

- 賞品の内容：・ご家庭の生ごみが有機肥料や消臭液･活性液に大変身！
  生ごみ処理機「ボカシコンポスト」（5 名）
  ・協力事業者の商品詰め合わせなど　（11 種類各 10 名）※一部 20 名
- 応 募 期 間：令和８年 10 月 1 日（木）～令和８年 12 月 14 日（月）（当日消印有効）
  ※詳細はキャンペーン特設サイト（https://www.resource-saving.jp/challenge-2026campaign/）をご覧ください。

（2）スーパー・レストラン等での啓発ツールによるＰＲ

下表の協力店においてポスターの掲出やリーフレットの配架を行い、各事業者の取組をご紹介します。

協力店舗数： 約 988 店舗

事業者名	協力店舗数
株式会社イオンフードスタイル	123 店舗
イオンリテール株式会社	66 店舗
株式会社エコス	38 店舗
サミット株式会社	126 店舗
生活協同組合コープみらい	90 店舗
生活協同組合ユーコープ	37 店舗
富士シティオ株式会社	48 店舗
株式会社ヤオコー	172 店舗
株式会社デニーズジャパン	約 209 店舗
株式会社東急ストア	79 店舗

（3）協力事業者のオフィスや公共施設等におけるポスター掲出によるＰＲ

- 協力事業者のオフィスや域内の公共施設等にポスターを掲出し、普及啓発を実施しています。
- 実施期間：通年（オフィス・施設により、掲出期間は異なります。）

（４）キャンペーン協力事業者

協力事業者 32 社（50 音順）

小売・外食事業者（13 社）

株式会社イオンフードスタイル、イオンリテール株式会社、株式会社イトーヨーカ堂、株式会社エコス、サミット株式会社、株式会社シジシージャパン、生活協同組合コープみらい、生活協同組合ユーコープ、株式会社東急ストア、ネッスー株式会社、株式会社富士シティオ、株式会社ヤオコー、株式会社デニーズジャパン

製造事業者（19 社）

アサヒ飲料株式会社、味の素ＡＧＦ株式会社、江崎グリコ株式会社、株式会社エフピコ、キッコーマン株式会社、玉露園食品工業株式会社、サッポロビール株式会社、シーピー化成株式会社、Japan ZEN Circular 株式会社、中央化学株式会社、株式会社日清製粉グループ本社、日本ストロー株式会社、株式会社ファンケル、プリマハム株式会社、ポッカサッポロフード＆ビバレッジ株式会社、山崎製パン株式会社、株式会社ヨコタ東北、リスパック株式会社、株式会社 Ripples

２　九都県市の取組

プラスチックごみや食品ロスは世界的な問題であり、2015 年に国連サミットで採択された SDGs（持続可能な開発目標）では、2030 年までに食料の廃棄を半減することが掲げられています。

この状況を受け、九都県市では令和２年から「チャレンジ省資源宣言」を実施し、容器包装やワンウェイプラスチック製品（使い捨てプラスチック製品）、食品廃棄物の削減に取り組む企業を応援しています。また、住民への普及啓発を通じて、持続可能な資源利用への転換を目指します。

～ごみの削減に向けて～

ごみを減らすために、消費者にもできることはたくさんあります。今回のキャンペーンをきっかけに、ごみの削減に取り組みましょう。

- ✔ 買い物の際にはマイバックを持参して、不要なレジ袋をもらわないようにしましょう。
- ✔ 飲食店では自分が食べきれる分だけオーダーしましょう。
- ✔ 使い捨ての商品はなるべく使わず、環境に配慮しましょう。

～「チャレンジ省資源宣言」～

Challenge（チャレンジ：挑戦）：企業が環境のために様々な挑戦をして
Choice（チョイス：選ぶ）：消費者が環境のことを考えて商品・サービスを選ぶと
Change（チェンジ：変わる）：持続可能な世界に変わります。

ワンウェイプラスチック製品、容器包装、食品廃棄物を減らしたり、無駄にしないために企業が行う取組を応援し、住民への普及啓発を行うことで持続可能な資源利用への転換を目指しています。

チャレンジ省資源宣言ホームページ　https://www.resource-saving.jp/